

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 小ねじ・木ねじ・タッピンねじ・小径ボルトなどの締付け、取りはずし
- 金属や木材、モルタルなどの穴あけ

電子パルスドライバ

10.8 V WM 10DBL [無段変速]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



電子パルスドライバをお使いいただくうえで特別な注意が必要です。
詳しくは P.16 を参照してください。

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	6
各部の名称…	8
仕様…	9
別売部品…	10

使い方

各操作部（機能）の使い方…	11
電子パルスドライバの特徴…	16
充電する…	17
ねじを締める / はずす…	19
穴をあける…	21
締付け作業上のご注意…	23

その他

保守・点検…	24
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **正しく充電してください。**
 - 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。
また、破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、電子パルスドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動などの異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠注意

- ① 工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 細径のドリルは折れやすいのでご注意ください。
飛散して、けがの原因になります。

⚠️ 注意

- ⑦ モード切替パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。
- ⑧ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。誤作動等をおこす原因になります。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠️ 警告

蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。

⚠警告

- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ②蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④（+）（-）を逆にして使用しないでください。
- ⑤蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑧蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱・変色・変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠注意

- ①蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ②蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

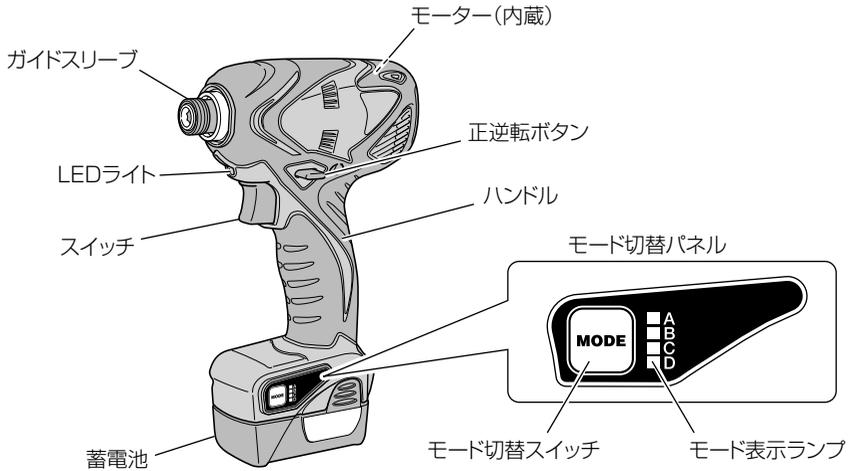


○新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

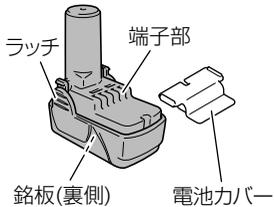
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

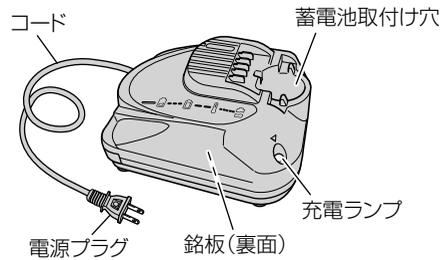
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	標準付属品	
		2LCSK	NN
蓄電池 BCL1015		2 個 (本体装着 1、予備 1)	—
充電器 UC 10SL2		1 台	—
収納ケース		1 個	—
電池カバー		2 個	—

仕 様

本製品は 20 の作業モードを内蔵していますが、モード切替スイッチで切替えて使用することができるのは、最大 4 つまでとなっています。

工場出荷時は、広く一般的な作業に適している 4 つを初期の作業モードとして設定していますが、別売部品の「通信アダプタ」を使用することで、使用したい作業モードを自由に選択することができます。詳しくは P.13 の「モード切替機能およびモード書替機能について」をご覧ください。

1. 工具体

形 名	WM 10DBL	
取 付 け る 蓄 電 池	BCL 1015	
能 力 ※1	電子パルスモード	木 ね じ $\phi 3.8 \times 50$
	ボルトモード	普通ボルト M4 ~ M8
		高力ボルト M4 ~ M6
	テクスモード	テクスねじ $\phi 5$
	ドリルモード	木工穴あけ $\phi 12$
		鉄工穴あけ $\phi 5$
電子クラッチモード※2	モルタル穴あけ $\phi 6$	
最 大 ト ル ク ※3 [気温 20℃ 満充電時]	電子パルスモード	小 ね じ M6
	ボルトモード	19 N·m {194 kgf·cm}
		20 N·m {204 kgf·cm}
	テクスモード	M8 高力ボルト (強度区分 12.9) ヘグザゴンソケット使用 14 N·m {143 kgf·cm}
	ドリルモード	1.6 N·m {16 kgf·cm} / (2.5 N·m {25 kgf·cm}) ※1
電子クラッチモード※2	クラッチ 10 段階 1 ~ 6 N·m {10 ~ 61 kgf·cm}	
先 端 形 状	二面幅 6.35 ビット挿入形状	
モ ー タ ー	直流モーター	
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃ 満充電時]	電子パルスモード	0 ~ 2,200 min ⁻¹ {回 / 分}
	ボルトモード	0 ~ 1,300 min ⁻¹ {回 / 分}
	テクスモード	0 ~ 2,200 min ⁻¹ {回 / 分}
	ドリルモード	0 ~ 2,200 min ⁻¹ {回 / 分}
	電子クラッチモード※2	0 ~ 1,140 min ⁻¹ {回 / 分}
打 撃 数 [気温 20℃ 満充電時]	電子パルスモード	0 ~ 1,090 min ⁻¹ {回 / 分}
	ボルトモード	0 ~ 1,030 min ⁻¹ {回 / 分}
	テクスモード	0 ~ 1,090 min ⁻¹ {回 / 分}
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	10.8 V	
工 具 本 体 寸 法 (全長×高さ×センチメートル)	139 mm × 216 mm × 29 mm / (139 mm × 233 mm × 29 mm) ※1	
質 量	1.0 kg / (1.2 kg) ※1	
L E D ラ イ ト	白色 LED	

※1：本製品は別売部品の蓄電池 BCL 1030M を取付けることができます。BCL 1015 は BCL 1030M と電池電圧は同じですが、内部構造が異なるため、高い負荷がかかる作業では、BCL 1030M に対して能力が低くなります。() は BCL 1030M を取付けた場合の仕様を示します。

※2：電子クラッチモードは、初期の作業モードとして設定されていません。

※3：作業時に工具体が発生する最大トルクの設定値を示します。実際の締付け作業で得られる締付けトルクは、ねじや締付け部材によって異なりますので、ねじを数本試し締めして確認してください。

2. 充電器

形名	UC 10SL2
入力電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100V
充電時間 [気温20℃時]	BCL 1015 …約 30分 BCL 1030M…約 60分 (別売部品)
充電電圧	10.8V
充電電流	3.0A
コード	2心ビニールコード
質量	0.35 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
充電ランプ	赤色LED

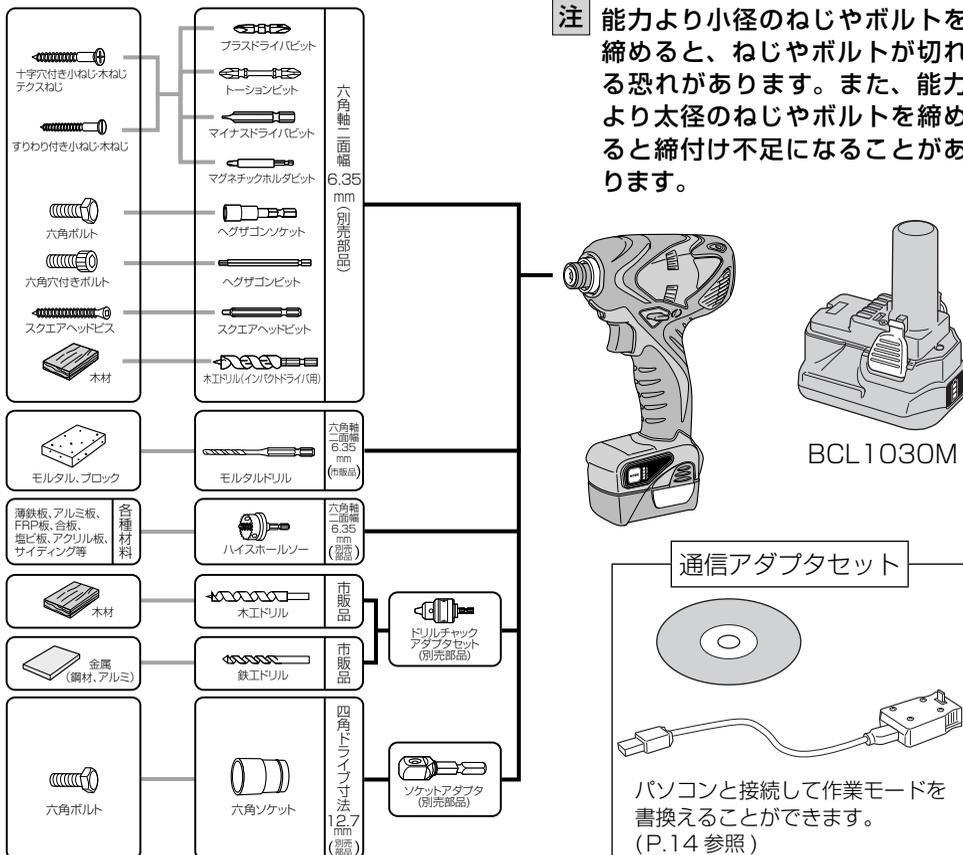
3. 蓄電池

形名	BCL 1015	BCL 1030M
容量	1.5 Ah {1,500 mAh}	3.0 Ah {3,000 mAh}
冷却	非対応	
残量表示ランプ	—	緑色LED

別売部品

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注 能力より小径のねじやボルトを締めると、ねじやボルトが切れる恐れがあります。また、能力より太径のねじやボルトを締めると締付け不足になることがあります。



各操作部（機能）の使い方

●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引込み量で無段階に回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

●LED ライトの使い方

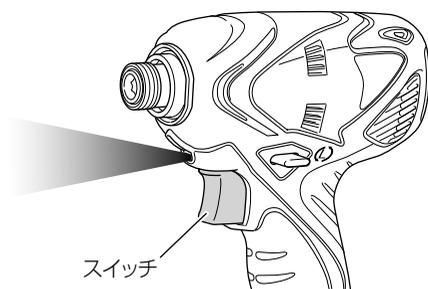
⚠注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端部を照らします。

わずかにスイッチを引くことにより、先端工具を回転させることなく、LED ライトを点灯でき、暗い場所での作業時に便利です。

注 わずかにスイッチを引いて、LED ライトを点灯させたとき、「ピー」と音が出ますが、モーターのうなり音であり、故障ではありません。



●蓄電池 BCL1030M (別売部品) について

本電池を使用すると、残量表示が容易に把握でき、1 充電あたりの作業量が BCL 1015 使用時と比較して、約 2 倍となります。

BCL 1030M 使用時の締付け本数については、P.15 を参照願います。

電池残量表示について

【表示の見かた】表示ランプ  : 消灯  : 点灯および点滅 (2 秒周期)

電池残量	0% ~ 25%	25% ~ 50%	50% ~ 75%	75% ~ 100%
残量表示				

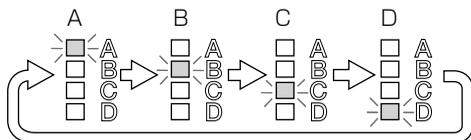
- **充電時** : 順次表示ランプが点滅して蓄電池の充電量を表示します。
- **休止時** : 常時、表示ランプが点滅して蓄電池の残量を表示します。
- **工具使用時** : コードレス工具のスイッチを入れると、表示ランプが点灯して蓄電池の残量を表示します。
スイッチを放してから約 3 秒で点滅に切替わります。
- **異常時** : 表示ランプが速い点滅 (0.5 秒周期) になった場合、蓄電池の異常と考えられますので、お買い求めの販売店にご持参ください。

注 長時間使わずにおいた蓄電池は、自己放電により残量表示ランプが点灯および点滅しないことがあります。

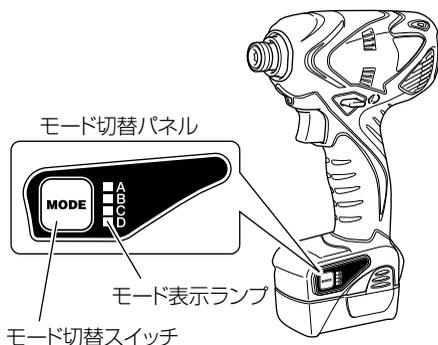
充電することにより、点灯および点滅します。

●モード切替機能およびモード書替機能について

工具本体側面のモード切替スイッチを押すごとに作業モードが切替わります。作業に応じて作業モードを選択してください。



注 モード切替は蓄電池を工具本体に取り付け、一度スイッチを引いた後でないと切替えできません。



作業モードの初期設定について

本機には、初期の作業モードとして次の4つが設定されています。

記号	作業モード	適応作業の例
A	電子パルス「強」	木ねじの締付け
B	ボルト「連続」	ボルトの締付け
C	テスク「強」	テスクねじの締付け
D	ドリル	穴あけ

注

- ねじや締付け部材によって実際の締付け作業で得られる締付けトルクが異なります。ねじを数本試し締めして確認してください。
- ボルトの締付けは、ボルトモードで行ってください。
- スイッチを入れたままモード切替スイッチを操作しても、モードの切替えはできません。モードの切替えはスイッチを切った状態で行ってください。

本製品に内蔵された作業モードとモード書替機能について

本製品は全部で20の作業モードを内蔵しています。それぞれの設定は次ページのようになっています。

別売部品の「通信アダプタ」を使用することで、使用したい作業モードを最大4つまで自由に選択することができます。切替え可能なモード数を1つや2つに制限することや4つ全てを同じモードに設定することもできます。

内蔵作業モード一覧

■ は初期設定されている作業モード

番号	作業モード名	最大トルク N・m {kgf・cm}	無負荷回転数 min ⁻¹ {回/分}	打撃数 min ⁻¹ {回/分}	適応作業の例		
1	電子パルス モード	弱 13 {133}	0 - 1,300	1,090	木ねじの 締付け	長さ 32 mm 未満	
2		中				長さ 32 ~ 50 mm	
3		強	19 {194}	0 - 2,200		1,050	長さ 50 mm
4	ボルトモード ※1	弱 10 {102}	0 - 770	1,030	ボルトの 締付け	普通ボルト M4 ~ M8 高力ボルト M4 ~ M6	
5		中	15 {153}				0 - 1,040
6		強	20 {204}				0 - 1,300
7		連続	20 {204}				0 - 1,300
8	テクスモード ※2	弱 3.5 {36}	0 - 2,200	1,090	テクスねじの 締付け	φ 3.5	
9		強 14 {143}				φ 4 ~ φ 5	
10	ドリルモード ※3	- 1.6 {16} 2.5 {25}	0 - 2,200	-	穴あけ	木工φ 12、鉄工φ 5、モルタルφ 6	
11	電子クラッチ モード ※4	1 1 {10}	0 - 250	-	機械ねじの 締付け	~ M6	
12		2 1.4 {14}	0 - 350				
13		3 1.8 {18}	0 - 450				
14		4 2.3 {23}	0 - 550				
15		5 2.8 {29}	0 - 650				
16		6 3.3 {34}	0 - 750		タッピンねじ の締付け		
17		7 3.9 {40}	0 - 850				
18		8 4.6 {47}	0 - 950				
19		9 5.3 {54}	0 - 1,040				
20		10 6 {61}	0 - 1,140				石こうボード の貼付け

表中の最大トルクは、選択された作業モードで作業をする際に工具本体が発生する最大トルクの設定値です。

実際の締付け作業で得られる締付けトルクは、ねじや締付け部材によって異なりますので、ねじを数本試し締めして確認してください。

※ 1：ボルトモードの「弱」、「中」、「強」は締付けトルクの精度向上のため 10 打撃で停止します。

※ 2：薄板にテクスねじを締付ける場合は、ねじ径にあった適正な板厚を確認してください。

※ 3：BCL 1015 取付時 1.6 {16} N・m {kgf・cm}、BCL 1030M (別売部品) 取付時 2.5 {25} N・m {kgf・cm}

※ 4：電子クラッチモードの「4」～「10」では、負荷が大きくなると、ねじなめを起こしにくくするため、間欠的にごく短時間の逆転動作を行う場合があります。

右図のように工具本体とパソコンを通信アダプタで接続し、通信アダプタソフトを用いて作業モードを書替えることができます。

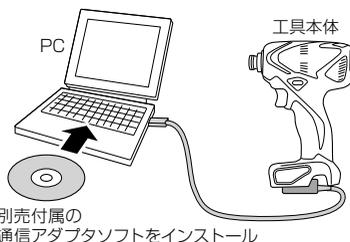
次のように用途に応じて、4 種類の作業モードを組合わせて書替えることができます。

書替例 1

記号	作業モード
A	電子パルス「弱」
B	テクス「強」
C	電子クラッチ「1」
D	電子クラッチ「3」

書替例 2

記号	作業モード
A	ボルト「弱」
B	ボルト「連続」
C	なし
D	なし



● 1 充電当たりの作業量について

工具体の 1 充電当たりの作業量の目安を示します。(作業量は、木材の硬さ、使用環境、蓄電池の特性などにより多少異なります。)

作業モード	蓄電池		BCL1015	BCL1030M (別売部品)
	作業内容			
電子パルス「強」	木ねじ締付け ϕ 3.8 × 50	ラワン	約 300 本	約 700 本
ボルト「強」	ボルト締付け M8 × 30	S10C	約 100 本	約 240 本
テクス「強」	テクスねじ締付け ϕ 4 × 16	Cチャン t2.3 +SPCC t1.6	約 120 本	約 280 本
ドリル	木工穴あけ ϕ 12	米松 t18	約 220 個	約 510 個
	鉄工穴あけ ϕ 5	SPCC t1.6	約 95 個	約 220 個
電子クラッチ「10」	小ねじ締付け M6 × 12	S45C	約 1,670 本	約 3,900 本

注 BCL 1015 は BCL 1030M(別売部品)と電池電圧は同じですが、内部の構造が異なります。蓄電池の残量が少なくなると、高い負荷がかかる作業では、先端工具や相手材の状態によって、蓄電池の残量が残っていても作業が完了できなくなる(ねじが最後まで締まらない、穴が開かない等)場合があります。

電子パルスドライバの特徴

電子パルスドライバは、従来のインパクトドライバと異なり、モーターの正転と逆転を繰り返すことで打撃力を発生させています。

この機構によって、静かな打撃を実現しています。

従来のインパクトドライバと比較して、次のような特徴がありますが故障ではありません。

ねじの連続締付けを行うと高温になりやすい

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

締付けるねじと相手材の条件によって、早期に打撃動作に移る場合があります。

そのような状況で動作すると、モーターと電子部品の発熱が増加するため、機体の温度保護回路が早期に作動します。

温度保護回路が作動して停止した際の回復方法については、P.23の「締付け作業上のご注意」をご覧ください。

また、電子パルスドライバは、各動作モードに最適な動きとなるよう、常にモーターの回転を制御しています。

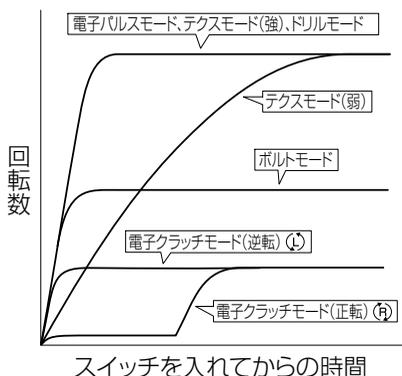
そのため次のような作動上の特徴があります。

各モードによって起動時の動きが異なる

テクスモード（弱）は徐々に加速します。
電子クラッチモード（正転）は起動後の一定時間はごく低速で回転し、その後加速します。

電子クラッチモード（逆転）は正転時と異なり、起動後すぐに設定回転数になります。

各モードのイメージ図を右に示します。



打撃状態から初期状態に戻らない場合がある

スイッチを引いたまま、ビット、ソケットをねじ、ボルトからはずした場合、打撃状態が続くことがあります。

スイッチを切って、次の作業を開始すれば初期状態に戻ります。

電池残量が少なくなってもモーターの回転数が低下しない

本機は定速度制御を採用しているため、電池残量が少なくなってもほとんど回転数が低下せず、電池容量一杯まで能率良く作業ができます。しかし、回転数の低下から電池残量の予測がつきにくいいため、作業の途中で電池残量が無くなり、突然停止する場合があります。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

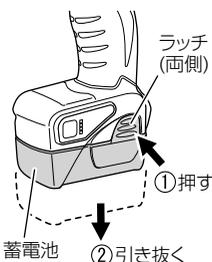
コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.18「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



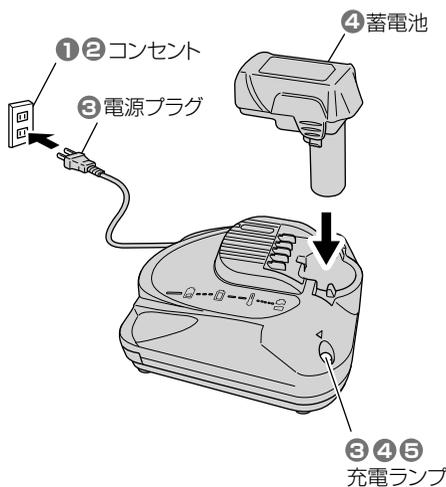
- 蓄電池を右図に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 蓄電池を充電器に取付けると充電を開始し、充電ランプが点灯します。

⚠ 警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間：BCL 1015 約 30 分
BCL 1030M 約 60 分
(別売部品)

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		本体 シンボルマーク	表示内容
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	/	電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点 灯	連続点灯 		充電中
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		充電完了
遅い点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 		充電器または蓄電池に異常あり

注 ● 充電ランプが速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

● 電源プラグをコンセントにさし込んでも充電ランプが点滅しない場合、充電器の保護回路が動作している可能性があります。

電源から取りはずして約 30 秒後、再度電源につないでください。

それでも充電ランプが点滅しない場合、お買い求めの販売店にご持参ください。

● 一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度休ませてください。

同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

● 工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

● 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。

無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

● 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がすぎたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。

寿命のすぎた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

ねじを締める / はずす

● 小ねじ・小型ボルトなどの締付け、取りはずし

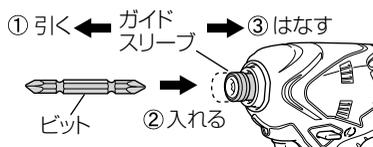
警告

ビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

注意

ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。

1 ビットを取付ける



2 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



3 作業モードを合わせる

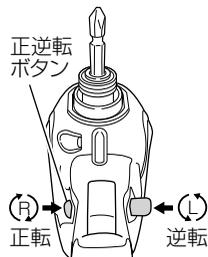
モード切替スイッチを押して、作業に適したモードに合わせます。

(P.13 「モード切替機能およびモード書替機能について」参照)



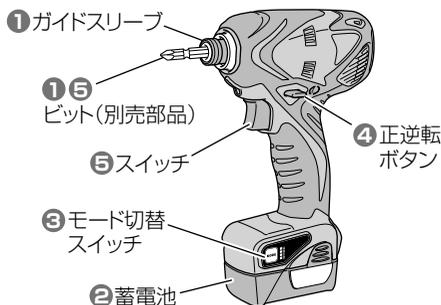
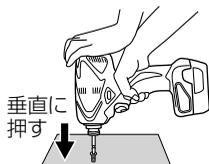
4 回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを押して、ねじの締付け（ゆるめ）方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。



5 スイッチを入れる

- ビットの先をねじ頭部の溝に当て、スイッチを引きます。
- ねじの頭からビットがはずれないように押付けます。(P.20「ねじ締め作業のコツ」参照)



- 注**
- 正逆転ボタンの切替は、必ずスイッチを切ってから行ってください。
 - スイッチの引込み量がわずかなとき、「ピー」という音が発生しますが、機体の異常ではありません。

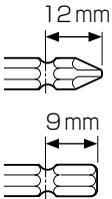
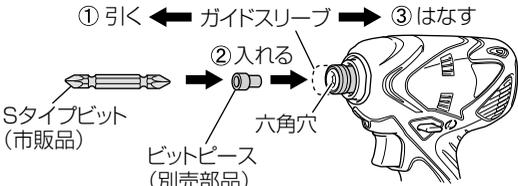
●ねじ締め作業のコツ

- 締付材に対してねじとビットが垂直になるように、機体を保持してください。
- 機体後方から適度な荷重をかけながらねじ締め（または緩め）作業を行ってください。負荷の大きなねじの場合は、両手で確実に機体を保持すると、ねじの頭を傷めずに行えます。
- ねじ頭部の十字穴に合ったビットを使用してください。
特にテクスねじを締付ける場合は、ビットが合っていないと、ねじが倒れやすくなるので注意してください。
- 下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、スイッチをごく短時間だけ入れて、木ねじの先端を木材に食い込ませてから締付けると、ねじがぐらつかずスムーズな作業ができます。
- ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。

木ねじ呼び径 (mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径 (mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9	4.3
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2	4.6

●S タイプビットの取付け方

弊社指定のビットのサイズはLタイプです。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピース（別売部品）が必要です。下表の手順で確実に取付けてください。

Sタイプのビットのサイズ	ビットの取付け方
	 <p>①引く ← ガイドスリーブ → ③はなす</p> <p>Sタイプビット (市販品)</p> <p>ビットピース (別売部品)</p> <p>六角穴</p> <p>ガイドスリーブを先端側に引いて、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。</p>

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
 - ビットピースを取付けずにSタイプのビットを使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

穴をあける

- 鉄工ドリルで金属の穴あけ
- 木工ドリルで木材の穴あけ
- モルタルドリルでモルタルの穴あけ

⚠ 警告

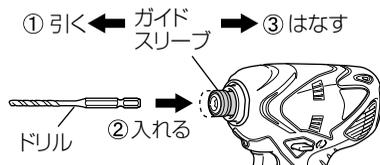
ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

穴あけ直後のドリルや切粉は高温になっているので触れないでください。

1 ドリルを取付ける

- 六角軸タイプのドリルは、そのまま取付けできます。
- 六角軸タイプでないドリルの取付けには、別売のドリルチャックアダプタセットが必要です。
- 木ねじの下穴や 10mm 以下の穴には鉄工ドリルをご使用ください。



2 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



3 作業モードを合わせる

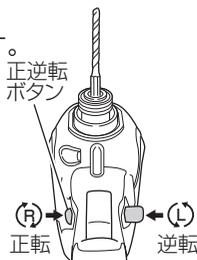
モード切替スイッチを押して、ドリルモード (D) に合わせます。

(P.13「モード切替機能およびモード書替機能について」参照)



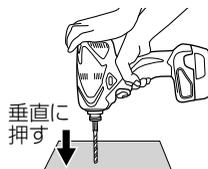
4 回転方向を合わせる

- 正逆転ボタンを (R) 正転側から押します。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。



注 「ドリル」モードでご使用の際、モーターがロックして回転が停止する場合がありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因となります。

5 スイッチを入れる

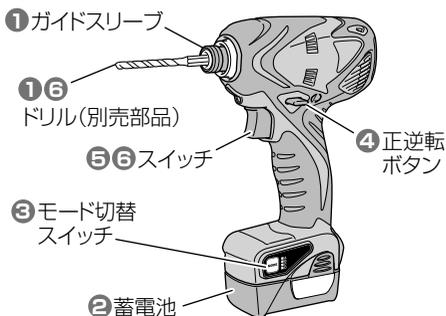


(P.22「木材にきれいな穴をあける」「金属へ上手に穴をあける」「モルタルなどへの穴あけ」参照)

6

材料からドリルを抜く

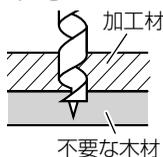
スイッチを入れたまま（回転したまま）、ドリルを引き抜いてください。または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを (L) 逆転側から押して再度スイッチを入れて引き抜いてください。



●木材にきれいな穴をあける

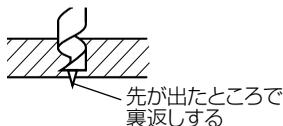
不要な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ突きぬけるときに発生するバリを防ぐことができます。



または

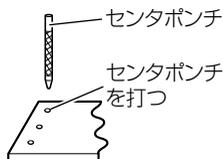
木工ドリルの先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける



●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



さらに

鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける

穴があけやすくなります。

注 金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、ドリルがドリルチャックからずれることがあります。このような場合は、機体の押付け力を弱め、ドリルがすべらないようにしてください。

●モルタルなどへの穴あけ

- 必要以上に力を加えても決して早く穴はあきません。かえってドリルの先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、機体の寿命も短くなります。
- 機体は 10 ~ 20 kg 程度の押付け力（推力）でご使用ください。

締付け作業上のご注意

● 連続作業について

打撃動作を連続して行くと、早期に温度保護回路が作動する場合があります。(P.16「電子パルスドライバの特徴」参照)

温度保護回路が作動して停止すると、LED ライトが点滅して機体が高温になっていることをお知らせします。LED ライトは約 30 秒後、自動的に消灯します。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に機体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

- 注**
- 温度保護回路が作動して自動停止したときは、機体を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。
 - 体が十分に冷却されていない状態でスイッチを入れても起動しません。スイッチを入れている間、LED ライトが点滅します。機体が十分に冷却されるまでお待ちください。
 - 連続運転中は機体の先端付近が熱くなるので、手を触れないでください。

● 変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引込み量が少ない状態(低速回転域)でモーターを停止させるねじ締め作業を連続的に行くと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

● 機体の保持と押しつけ力について

機体は両手で確実に保持してください。機体を保持した際には、ねじやボルトに対して機体がまっすぐになるようにしてください。また、機体は必要以上に押しつける必要はありません。

機体をこじる力や押しつける力が過度にかかると、機体の故障の原因になりますのでご注意ください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ドリル・ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリルを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 端子部（工具本体、蓄電池）の点検

⚠ 注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>